

2530 | レポート入門Ⅰ

1 単位 (メディア授業 1 単位)

金子伸二教授

授業の概要と目標

通信教育課程での学修に必要なレポートの作成に関する基礎的な知識と能力を養う。大学におけるレポートの特性と要件、疑問からテーマへの展開、資料の探索と読解、論述のための表現と表記の形式、引用や典拠などレポートのルールとマナーなどについて学ぶ。特にルールやマナーの理解に重点を置く。

課題の概要

- メディア授業課題
引用ルールを中心に、重要事項の理解度を問う課題。

授業計画

[メディア授業]

- ・前期 (5 月～8 月)、後期 (10 月～1 月) の年 2 回開講。
 - ・各章終了時に、章の内容を振り返る「学習チェック」がある。
 - ・全章終了時に評価を目的として記述式の「修了テスト」がある。
- 開講時期や修了テストの予定については「メディア授業の受講にあたって」を参照すること。

(メディア授業の構成)

- 1 回 レポートに取り組もう
- 2 回 情報を集めよう
- 3 回 資料を読み解こう
- 4 回 問い掛けながら考えよう
- 5 回 レポートを組み立てよう
- 6 回 表現と表記を工夫しよう
- 7 回 ルールとマナーを確認しよう
- 8 回 仕上がりを追求しよう

成績評価の方法

テストによる評価。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] インターネット接続環境があり、PC およびタブレット端末などで、本学 Web キャンパスに接続できること

[備考] 履修年次は問わない。いずれの学生も早い年次での履修が望ましい。

教材等

なし

その他

参考図書：『ムサビ生のための著作権基礎ガイド』（入学時配布済）

2540 | レポート入門Ⅱ

1 単位（面接授業 1 単位）

金子伸二教授

授業の概要と目標

通信教育課程での学修に必要なレポートの作成に関する基礎的な知識と能力を養う。大学におけるレポートの特性と要件、疑問からテーマへの展開、資料の探索と読解、論述のための表現と表記の形式、引用や典拠などレポートのルールとマナーなどについて学ぶ。特に表現上のチェックポイントや文章の練り上げ方に重点を置く。

課題の概要

○面接授業課題

資料の読解と文章表現を中心に、重要事項の理解度を問う課題。

授業計画

[通信授業]

1 日目午前：大学におけるレポート、資料の探索ほか。

1 日目午後：レポートの構成と文章表現ほか。

2 日目午前：レポートのルールとマナーほか。

成績評価の方法

授業内レポートによる。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

なし

その他

参考図書：『ムサビ生のための著作権基礎ガイド』（入学時配布済）

0030 | コンピュータリテラシーI

1 単位 (面接授業 1 単位)

清水恒平准教授、小西俊也講師、森山漸講師

授業の概要と目標

コンピュータの使用が日常化し、通信教育の学習を進める上でもコンピュータやインターネットの利用が不可欠になりつつある。しかし、ただソフトウェアを使用しているだけでは、なかなかコンピュータの基本と知識についての正しい理解が難しいという側面もあるだろう。

この科目は、通信教育課程でコンピュータを利用していくことを念頭に置いた、コンピュータやインターネットの必要最低限の知識を学習する、導入的授業と位置づけられる。

面接授業ではコンピュータやインターネットの基本的な知識の講義と併せ、コンピュータでの作業の総合的トレーニングとして Web ページの制作を行う。その作業を通じ、コンピュータの基本的な知識の理解や一連の作業を体験することを目的とする。

課題の概要

○面接授業課題

テキストエディタを使用し、HTML を記述することで Web ページを作成する。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[面接授業]

教科書『コンピューターと生きる』を適宜参照しながら、講義と実習を織りまぜて授業を行う。

第 1 日 全日：コンピュータ(ハードウェアとソフトウェア)の仕組み、インターネットの仕組みの解説。

通信教育課程の Web サイト (<http://cc.musabi.ac.jp/>) の紹介

インターネットのセキュリティやマナー、Web ページ作成方法の解説 (HTML の書き方、

文字、色、画像についての説明を含む)、および Web ページの作成

第 2 日 午前：Web ページの作成 (続き) 提出・講評

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わないが、入学初年度など、早い年次での履修が望ましい。

特に日常あまりコンピュータに触れる機会がなく、「コンピュータ基礎 I」や「情報システム基礎 I・II」の履修を考える学生は、これらの科目以前に履修することが望ましい。

スクーリングで使用するコンピュータは Windows と Macintosh を予定している。

導入的授業なのでコンピュータ操作が不馴れな学生へのサポートは適宜行うが、基本的な用語や操作は理解しておけば授業内容の理解が容易である。マウスやキーボードの操作に不安のある学生は、入門者向けの書籍を参考に操作の練習を行うなどし、学習指導書に掲載されている用語や操作の意味を理解した上で授業に臨むこと。

スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：佐藤淳一『コンピューターと生きる』(武蔵野美術大学出版局 2018 年)

学習指導書：『コンピュータリテラシー I・II・III 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

0040 | コンピュータリテラシー II | 2 単位 (通信授業 2 単位)

清水恒平准教授、松本亜実講師

授業の概要と目標

この科目では通信教育の学習過程において、今後コンピュータを利用したレポート作成や課題作成の有力な道具となる「Web 情報有効的活用」について理解することを目標とする。

また通信課程で取り組む多くの「学習レポート」の作成方法、「著作権の観点からの引用方法」「信頼性の高いサイトの選択」の修得ができるようになることも目標とする。

課題 1 では Web 情報の収集や連絡時に利用するコンピュータソフトウェアについての理解を深めることができるようになることを目標とする。

課題 2 では今後の学習に生かすため情報検索の仕組み、検索表示方法のルール、目的に沿った深い理解のための効果的な収集方法を身につけることができるようになることを目標とする。

課題の概要

どちらの課題も学習指導書『コンピュータリテラシー I・II・III 2019 年度』内の該当項目を精読し、記述ルールに沿って作成すること。

また各レポート提出時にテキストファイルまたは PDF で以下の 2 項目を記述し 1 ファイルにし添付すること。

1. 引用 URL
2. 自己評価ルーブリック 1 通 (学習指導書に記述)

[通信授業課題 1]

コンピュータ上で利用するブラウザもしくはメールソフトを選択し、各自でどちらかを複数選択後、独自の比較基準を設定し比較・評価後考察する。

[通信授業課題 2]

2-1 検索エンジンを調査後自分の視点を決め理解を提示、考察する。

2-2 指定された複数のキーワードから各自が興味を持ったキーワードを 2 つ選択し検索エンジンを利用し理解の経緯を報告し考察する。

授業計画

[通信授業]

教科書『コンピューターと生きる』を通読しその中でも第 7 章電子メールを使う、第 8 章ウェブ (World Wide Web) を使う、第 9 章情報護身術の内容を理解したうえで学習指導書のルールに沿ってレポートで学習した結果を報告すること。事前調査を実行後、全体レポート構成を考えてから取り組むこと。

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わないが、入学初年度など、早い年次での履修が望ましい。

インターネットに接続でき、Web ブラウザを使用できるコンピュータを所有するか、もしくは利用できること (OS は問わない)。

教材等

教科書：佐藤淳一『コンピューターと生きる』(武蔵野美術大学出版局 2018 年)

学習指導書：『コンピュータリテラシー I・II・III 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

その他

この課題は「学習レポート」です。記述方法は学習指導書を精読し、作成してください。

その他「この 1 冊できちんと書ける! 論文・レポートの基本」石黒 圭著 (日本実業出版社)「ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方」石井 一成著 (ナツメ社) のような大学レポートの記述方法のための書籍、またそれに類する Web サイトなども参考にしてください。

2130 | コンピュータリテラシーⅢ

1 単位（面接授業 1 単位）

白尾隆太郎教授、森山漸講師

授業の概要と目標

コンピュータを利用する上で、ソフトウェアの操作の理解と同様に重要なのが、扱うデータの理解といえる。特に美術・デザイン系の大学においては、グラフィック系ソフトウェアの理解と、各種画像データやグラフィックデータの正しい理解は必須である。

この科目は、グラフィック系ソフトウェアを利用するための導入的授業という位置づけであり、代表的なソフトウェアの利用方法、および画像・グラフィックデータの扱い方などの理解を目的とする。

課題の概要

○面接授業課題

Adobe Photoshop、Adobe Illustrator を使用しながら簡単な画像、図形、テキストの作成を行い、最終的に A4 サイズ 1 枚程度の印刷物を作成する。

* 授業については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[面接授業]

第 1 日 全日：Macintosh の基礎、Adobe Photoshop の基本操作、ビットマップグラフィックス、画像の解像度と色情報、RGB カラーと CMYK カラーなどについての講義と実習（練習問題）
Adobe Illustrator の基本操作、ベクターグラフィックス、デジタルフォント、各種画像のファイルフォーマットなどについての講義と実習（練習問題）

第 2 日 午前：課題制作

成績評価の方法

提出課題、授業態度の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わないが、入学初年度など、早い年次での履修が望ましい。

特に「グラフィックデザイン基礎Ⅰ・Ⅱ」（またはそれ以降のコミュニケーションデザインコース必修科目）ではこの科目で使用するソフトウェアを使用する機会が多く、また画像データなどに関する知識も必要となるので、それらの科目以前に履修することが望ましい。スクリーニングで使用するコンピュータは Macintosh である。

Macintosh という OS の概説や、操作が不馴れな学生へのサポートは適宜行うが、マウスによる基本的なコンピュータの操作や、学習指導書に掲載されている用語や操作の意味は受講前に理解した上で授業に臨むこと。

データバックアップ用の USB メモリを用意しておくこと。

スクリーニング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

教科書：佐藤淳一『コンピューターと生きる』（武蔵野美術大学出版局 2018 年）

学習指導書：『コンピュータリテラシーⅠ・Ⅱ・Ⅲ 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

参考資料：永原康史『デザイン・ウィズ・コンピュータ [改訂版]』（エムディエヌコーポレーション 2003 年）

カラー図解『DTP&印刷スーパーしくみ事典 [2019 年度版]』（ボーンデジタル 2019 年）

教科書、学習指導書は受講前に目を通しておき、当日は忘れずに持参すること。

2140 | カメラリテラシー

1 単位 (メディア授業 1 単位)

白尾隆太郎教授、池永一夫講師

授業の概要と目標

写真はデザイン系の学生に限らず、画像に記録することや資料として提示するなど、さまざまな局面で求められることがある。そのためカメラや写真の基礎的な知識は、多くの学生によって必要不可欠な要素である。その知識は、カメラが銀塩からデジタルに進化した現在でも、基本となるレンズの絞りとシャッター速度との関係、すなわち露出という問題が写真の基礎であり、デジタル写真になった現在でも不変と言える。

この科目では、表現としての写真技法ではなく、カメラの基礎的な知識や構造、レンズの特性などの講義を中心に、初歩的なカメラの使い方からその仕組み、レンズの効果など、写真表現の基礎となる技術的な知識の習得を主な目的としている。そして写真のほとんどがデジタルになっている現在では、当然その技術的な問題にも触れることになる。

科目の内容を理解し、その知識を写真表現に活かすことや記録という意味でデジタルアーカイブの質をより一層高めることを主な目的としている。

課題の概要

- ・カメラの種類と特性
- ・露出の原理
- ・レンズの絞りとシャッター速度による映像効果
- ・レンズの選択と映像効果
- ・デジタルカメラを正しく使うための知識
- ・デジタルデータを扱う知識

授業計画

[メディア授業]

- ・前期 (5月～8月)、後期 (10月～1月) の年2回開講。
- ・各章終了時に、章の内容を振り返る「学習チェック」がある。
- ・全章終了時に評価を目的として記述式の「修了テスト」がある。

開講予定や修了テストの予定については「メディア授業の受講にあたって」を参照すること
(メディア授業の構成)

- 1章 学習目的とカメラの仕組み
- 2章 露出を理解する
- 3章 露出と映像効果
- 4章 レンズの役割
- 5章 被写界深度とは
- 6章 カメラとレンズを扱う知識
- 7章 デジタルカメラを操作する
- 8章 デジタルデータを扱う知識

成績評価の方法

テストによる評価。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] インターネット接続環境があり、PCおよびタブレット端末などで、本学 Web キャンパスに接続できること。

[備考] 履修年次は問わないが、いずれの学生も早い年次での履修が望ましい。

その他

参考図書：『林檎の秘密』すぐに役立つ写真の基礎知識 (フィルムカメラ用)

希望者は下記にて直販していますので、各自購入して下さい。

リコーイメージングオンラインストア <http://store.rioh-imaging.co.jp/g/S0097374/>

リコーイメージングスクエア新宿 Tel: 050-3534-6371

リコーイメージングスクエア銀座 Tel: 03-3289-1521

リコーイメージングスクエア大阪 Tel: 050-3534-6188

価格: 2,500 円 (税別)

2470 | 美術入門

1 単位 (面接授業 1 単位)

重政啓治教授、三浦明範教授、吉川民仁教授、元田久治教授

授業の概要と目標

本科目は、主に新入生を対象として、美術領域の広さや表現する楽しさを知ることを目的とする。進行としては、創作に向かう基本的な姿勢や考え方、絵を描く上で考えることになる様々な造形表現などを含めながら、油絵学科の絵画コース・日本画コース・版画コースの担当教員が順次に講義を行う。

課題の概要

面接授業での講義をもとに、レポートを作成する。

授業計画

[面接授業]

第1日 全日：前提講義の後、各担当教員が順次に講義。

第2日 午前：担当教員の講義。

講義をもとにレポート作成 (60分)。

成績評価の方法

面接授業内レポート提出による評価。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 受講人数を制限する場合がある。

教材等

なし

2480 | デザイン入門

| 1 単位 (面接授業 1 単位)

牧野良三教授、白尾隆太郎教授、上原幸子教授、清水恒平准教授、田村裕教授、金子伸二教授

授業の概要と目標

本科目は、主に新入生を対象として、デザインの幅広い概念と領域、デザインの基本的な考え方や方法を理解し、また、現代デザインの動向などを学ぶことによって、視野を広げ、知識の吸収や創作的意欲の向上につなげていくことを目的とする。日常生活の中で見過ごされがちなモノ・ヒト・コトを観察してデザインに結びつく問題を発見することや、誰もが持っている造形的な感覚と能力を自ら活性化させていくことの重要性を理解し、現代社会におけるデザインの役割や、新しい技術やメディアと結びついたデザインの可能性などについて考える。

授業は、デザイン系の専任教員がオムニバス形式（交代リレー式）で行う講義のほか、紙と鉛筆による短時間での造形感覚トレーニングなどを行う。

課題の概要

授業内容を踏まえたレポート課題

授業計画

[面接授業]

第1日 全日：前提講義の後、工芸工業デザイン学科およびデザイン情報学科の各専任教員がオムニバス形式（交代リレー式）で講義。

第2日 午前：前日同様、専任教員による講義（進行：芸術文化学科専任教員）。授業内容に関するレポート作成（60分）。

成績評価の方法

面接授業内提出レポートによる。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] スクーリング時に、受講人数を制限する場合がある。

教材等

なし

その他

面接授業でペアワークを行う場合がある。

0050 | 文学

2 単位（通信授業 2 単位）

今岡謙太郎教授

授業の概要と目標

ここでは文学が言語芸術であることを認識することがまず要請される。一般的には、文学は隣接するジャンルである歴史や哲学や思想などと同じような内容と性質を持つものであるように思われがちだが、文学がそれら以上に言語による芸術表現であることを認識しながら、文学の大まかな輪郭や相貌を提供することが本科目の概要である。そこから文学という概念を知的に把握して、受講生みずからが主体的に文学作品に接して自分なりの深い文学体験を明瞭に自覚しつつ、その結果を客観的に報告できるようにすることを目標とする。

課題の概要

○通信授業課題

2 単位の通信授業であるので 2 回のレポートが課せられる。それぞれ教科書の内容に即した課題が主であるが、一方で個々の文学作品に接することが求められる。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

授業と言っても面接授業は行われぬ。まず教科書をよく読んで内容をよく理解した上で、みずから選んだ作品によって自分なりの文学経験を深めて、それを明瞭に自覚することが肝要となる。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：佐久間保明『文学の新教室』（ゆまに書房 2007 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

教材以外の参考文献については上記図書の巻末を参照のこと。

0060 | 歴史学

2 単位 (通信授業 2 単位)

廖赤陽教授、金田真滋講師

授業の概要と目標

私たちが社会生活を送る上で、過去の歴史を学び、理解することは大切なことです。この科目では、特に現代の日本で生活する皆さんに是非とも知っていて欲しい、日本やその近隣の地域を含めた東アジアの近代・現代の歴史を学習します。教科書や学習指導書、参考文献などを読んで基礎的な知識を身につけた上で、出題するレポートを自分の手でまとめることで、私たちの社会がどのような歴史を歩んできて、どのようにして現代の社会が作られてきたのかを学習してください。それにより現在の身の回りのできごとや状況への理解も深まるはずですよ。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書の各章から、自分が関心を持った章の一つを選び、その内容をまとめよ。

○通信授業課題 2

自分と関係がある地域 (現住所や出身地の都道府県・市町村区) の歴史をまとめよ。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書『東アジア近現代史 (新版)』

第 1 章「東アジアと近代」

第 2 章「第一次世界大戦期と東アジア」

第 3 章「第二次世界大戦と東アジア」

第 4 章「冷戦体制の確立と『独立と革命』」

第 5 章「戦後体制＝冷戦構造の再編成」

第 6 章「世界秩序の再編成と東アジア」

第 7 章「世紀転換期東アジア史の展開」

第 8 章「世紀転換期中国経済社会の史的展開」

第 9 章「21 世紀東アジアの史的展開」

成績評価の方法

◎通信授業課題 (50%) と科目試験 (50%) を総合して評価する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：上原一慶、桐山昇、高橋孝助、林哲『東アジア近現代史 (新版)』(有斐閣 2015 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

0070 | 哲学

2 単位 (通信授業 2 単位)

富松保文教授、竹中真也講師

授業の概要と目標

哲学（フィロソフィア）と呼ばれる営みは、おおよそ紀元前六世紀から五世紀にかけて古代ギリシアで生まれました。フィロソフィアというギリシア語は、二つの部分からなる合成語で、「フィロ=愛し求めること」、「ソフィア=知」を意味します。哲学とは「知を愛し求めること」であり、そうして求められた結果としての「知」を意味するのではないということに留意してください。往々にして、哲学とは過去の人たちが考えてきたことの集積であり、それゆえ、哲学を学ぶとは、そうした知識をできるだけたくさん覚えていくことであるかのように思われがちですが、それは誤解です。

哲学という営みがいつ、どこで、どのようなものとしてはじまったのかを振り返ることで、哲学に対するこうしたありがちな誤解を取り除くことが、この科目の概要であり目標です。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書をもとに、「功利主義」と「カントの定言命法」を簡潔にまとめたうえで、「良い（善い）」、「悪い」についての論述を求める課題。

○通信授業課題 2

教科書をもとに、プラトンの「洞窟の比喩」を簡潔に説明したうえで、教科書の筆者が哲学という営みをどのようなものとして捉えようとしているかをまとめる課題。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

第1章「哲学とは何か」

第4章「道徳的価値の探求」

第2章「精神の発見」

第5章「神の存在」

第3章「ソクラテスと自己の追求」

第6章「現実とは何か」

成績評価の方法

◎科目試験

教科書をもとに出題する。

出題内容は、学習指導書に記載。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：ルイス・E・ナヴィア『哲学の冒険』富松保文訳（武蔵野美術大学出版局 2002年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019年）

その他

参考書：ナイジェル・ウォーバートン『入門 哲学の名著』（ナカニシヤ出版 2005年）

ウィル・バッキンガム『哲学大図鑑』（三省堂 2012年）

0080 | 社会学

2 単位（通信授業 2 単位）

小幡正敏教授

授業の概要と目標

現代社会のあり方と諸問題を、家族・労働・テクノロジー・グローバル化などの具体的な諸テーマにそくして考えてみる。また、近代社会の成立とともに社会学という学問が登場してきた理由や背景についても学ぶ。教科書に書いてあることを機械的に読んでレポートを書くのではなく、自分で調べること、自分で考えることが大切である。そのためには、新聞、雑誌、インターネットなどで情報収集すること、書店や図書館や資料館に出向くこと、現場を歩いてみるなどが不可欠となる。好奇心の旺盛な人向き。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書のいずれかの部から任意の 1 つの章を選び、そのテーマについて理解したことを具体例などをあげながら説明する。

○通信授業課題 2

課題 1 で選んだテーマについて「コミュニケーション」という視点から考察を加える。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書のいずれかの部から任意の 1 つの章を選んで学習する

第 1 部：近代と社会学

- 1 近代と新しい社会認識：近代社会の成立とマルクス
- 2 近代との格闘：デュルケームとウェーバー
- 3 近代の暗黒：戦争とトラウマ

第 2 部：社会の舞台

- 1 近代家族の変容：親密性と私秘性の高まり
- 2 連帯の変容と社会保障：福祉国家の解体と保険による生－政治
- 3 労働と職場：フォーディズムからポストフォーディズムへ

第 3 部：社会学と現代

- 1 テクノロジーと社会：鉄道・自動車・原発・メディア…
- 2 新しい行為主体：子ども、老人、女性、障害者、クイア…
- 3 グローバル化と現代社会：地域社会と生活空間の変容

補論

Doing Sociology：社会学をすること

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の内容および授業課題に準じた問題（記述式）を出す。

教科書を通読しておくことが望ましい。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：橋本梁司・小幡正敏著『社会学のまなざし』（武蔵野美術大学出版社 2004 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

参照すべき事典類として『社会学事典』（弘文堂）、『福祉社会事典』（弘文堂）などを挙げておく。

0090 | 経済学

2 単位 (通信授業 2 単位)

新堂精士講師

授業の概要と目標

経済学を学ぶ意味はいくつかあるが、市民として経済学を学ぶ意味を考えるのなら以下の2つではなかろうか。第一に、現代社会において私達の社会に大きな影響を及ぼすと考えられる「格差・経済成長・デフレ・貧困・失業・貿易摩擦・エネルギー・環境」などの問題の解決には、経済学の知識必須であること。第二に私たちが日常行う様々な意思決定において経済学の考え方が役立つということである。この授業では主に後者、したがって経済学の考え方を学ぶことを目標とする。具体的には日本人の優れた経済学者である宇沢弘文先生や森嶋通夫先生が、経済学の歴史と考え方について書かれた本あるいは過去の偉大な経済学者について日本一流の学者が解説した本を読んでいくことで経済学に固有の考え方の習得を目指す。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書1『経済学の考え方』の中から自分が興味を持った章を選び、まず、その章を要約し、自分で調べたこと等を踏まえて、自分なりの考察を加えレポートとする。

○通信授業課題 2

教科書2『世界を変えた経済学の名著』の中から自分が興味を持った章の一つを選び、まず、その章を要約し、自分で調べたこと等を踏まえて、自分なりの考察を加えレポートとする。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

教科書を使用する。

1. 「経済学の考え方」の1章を読む
 2. 『経済学の考え方』の2章 アダムスミスの国富論
 3. 『経済学の考え方』の3章 リカードからマルクスへ
 4. 『経済学の考え方』の4章 近代経済学の誕生
 5. 『経済学の考え方』の5章 ソーンストン・ヴェブレン
 6. 『経済学の考え方』の6章 ケインズ経済学
 7. 『経済学の考え方』の7章 戦後の経済学
 8. 『経済学の考え方』の8章 ジョーン・ロビンソンの経済学
 9. 『経済学の考え方』の9章 反ケインズ経済学の流行
 10. 『経済学の考え方』の10章 現代経済学の展開
 11. 『世界を変えた経済学の名著』Ⅰ 文明論の視点
 12. 『世界を変えた経済学の名著』Ⅱ 思想の広がり
 13. 『世界を変えた経済学の名著』Ⅲ 経済理論の発展
- ・11～13回についてはそれぞれ各1章を選んで学習してよい。
 - ・教科書2については11回から13回のどれかについて18章H・サイモン「経営行動」を選んでよい。

成績評価の方法

○科目試験

レポート2回および科目試験にて評価する。科目試験は持ち込み不可の論述試験1から2問を基本とする。論述試験の内容は、教科書に出てくる経済学者あるいは教科書の1章を選んで、考え方を要約し、それに対する批判的な検討を加えて述べるというものである。

履修条件及び履修年次

- [履修年次] 1～4年次
 [履修条件] なし
 [備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：1. 『経済学の考え方』 宇沢弘文 岩波新書 53 1989年
2. 『世界を変えた経済学の名著』 日本経済新聞社編 日経ビジネス文庫 2013年
学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』
(武蔵野美術大学通信教育課程 2019年)

その他

- ・教科書1から一章、教科書2から一つを選ぶのが原則だが、どちらかの教科書から2章以上を選んでレポートを作成してもよい。
- ・また、もし2章以上にわたって取り上げられた経済学者、例えば「思想としての近代経済学」のケインズやパレート等を取り上げてよい。
- ・上記でも述べたが、教科書2については18章を選択してもよい。
- ・参考文献：森嶋通夫『思想としての近代経済学』（岩波新書 321 1994年）

0100 | 憲法

2 単位 (通信授業 2 単位)

志田陽子教授、中島純子講師

授業の概要と目標

この講座では、わたしたちが知っておくべき権利やルールのうち、憲法で保障されている事柄を学ぶ。(著作権法をはじめとする知的財産権の分野については、「著作権法」の講座で学ぶ)。

法学系の科目を学習するにあたっては、自分をとりまく社会を、問題意識をもって見ることが出発点となる。そしてその問題意識を、憲法上わたしたちに保障されたさまざまな「人権」や、民主的な政治システムと関連づけて考えることが必要となる。本講座では、具体的な社会問題について考えながら、「法」の精神を生かした思考を実践することをめざす。

課題の概要

まず憲法の全体像をつかむため、教科書の全体を通読してほしい。それからレポート課題に進むこと。レポート課題では、社会の中で実際に起きた事例(裁判例)を素材として、具体的に考える。

課題条件の中には「関連する法律(憲法)の条文を挙げる」という条件があるが、これについてはインターネットや図書館で最新の法令を参照してほしい。

課題1・課題2とも、学習指導書にあるとおり、参考文献を明示すること。

○通信授業課題1

教科書と「例題」を参考にして、各自がもっとも関心をもったテーマをひとつ選び、具体的な事例を参考にしながら論じる。そのさい、「論点」を明確にする作業に力を入れてほしい。課題1では、自分が選んだテーマと事例の正確な把握ができていないか、これを考察するさいの「論点」を明確に意識できているかを主な評価対象とする。

○通信授業課題2

課題1で論じたテーマ・事例・論点について、自分の見解を論じる。その前提として、課題1の添削指導や資料などを参考にすること。他人の著作(新聞記事や専門家の解説)と自分の論説とを区別して記述できているか、結論で書いている内容と自分で設定した論点とがかみ合っているかを、重要な評価対象とする。

*課題については、学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

まず教科書全体を読み、憲法の内容について総合的に学習する。このとき、憲法が誰に向けられた法か(憲法は国家に向けられた法である点で、他の法律と異なる)、「立憲主義」とはどのようなものか、なぜ憲法が「最高法規」なのか、といった基礎的な共通前提について、各自で把握しておいてほしい。

次に、『造形文化科目・教職に関する科目学習指導書』に掲載した「例題」を参考にしながら、自分が関心をもって選んだテーマについて、もう一度教科書の該当する章を注まで読み込む。教科書の注や参考文献一覧に挙がっている資料も参考に、より詳しく学習した上で、自分の見解を述べよう。

成績評価の方法

◎科目試験

大まかな出題内容は、学習指導書に記載。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：志田陽子『表現者のための憲法入門』(武蔵野美術大学出版局 2015年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』(武蔵野美術大学通信教育課程 2019年)

その他

受講者のみなさんは、レポート作成のためにも、また、本講座での学習を生きたものにするためにも、教科書による学習と同時に、新聞報道などを通じて、日常の中でさまざまな素材に接する機会を作してほしい。

0110 | 民俗学

2 単位 (通信授業 2 単位)

亀井好恵講師

授業の概要と目標

わたしたちの生活には、古い時代の民俗文化を投影しているものが意外と多い。この科目は、ふだん見過ごしがちな奉納物、年中行事を注意深く観察することで、庶民信仰のあり方や何げなく行っている行事の意味を考えていこうとする。

課題で取り上げるような民俗文化は、表面上は新しい様式が主流になったように見えてもその根底には庶民の願いが流れていると考えられ、またある行事が変化するには変化の要因が必ずあると考えられる。そこで、ここではまずは民俗文化の様相に触れることを手初めとし、変容しつつも伝承される民俗文化を考えたい。

課題の概要

○通信授業課題 1

「寺社・小祠に寄進された奉納物を調査し、庶民信仰のあり方について考察せよ」

対象とする奉納物には、たとえば鳥居や玉垣、常夜燈、狛犬、絵馬などさまざまな種類があるが、これらの形態や銘文等の観察・記録をもとに、必要に応じてこのことを熟知する人に話を聞く。以上の調査を終えたうえで、文献や資料を参考とし、奉納する庶民の信仰のあり方を考察すること。

○通信授業課題 2

「自分の住んでいる地方または自分の家の盆、あるいは正月行事を調査し、考察せよ」

盆あるいは正月行事についてできるだけ全体を見ることが望ましいが、そのなかの一部、例えば盆踊り、盆礼、小正月の行事などを重点的に取り上げてよい。行事の変化(消滅・変容・創造)の様相を視野にいれた考察が望ましい。

どちらの課題にも調査対象のスケッチまたは写真を必ず添付すること。レポート本文を補充するような資料があればそれも添付すること。それらの添付資料には学籍番号、氏名を記入すること。

各自の参考文献、引用文献、調査年月日、場所、話を聞いた人の氏名・年齢などはレポートの最後に必ず明記すること。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

各課題は、現地での調査が前提となっている。ふだん見過ごしがちなこれらの調査対象を注意深く観察、調査のうえ、まとめあげるよう心掛けること。また、具体的な事実と各自が行う解釈とは明確に区別して記述する必要がある。

それぞれの課題を調査し、まとめあげるには相当の日数が必要となる。1つの課題が終了したら速やかに提出し、講評を受けること。

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：宮本常一『民俗学への道』(未来社 1983 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

0120 | 心理学

2 単位 (通信授業 2 単位)

荒川歩教授、浅井千絵講師

授業の概要と目標

心理学を研究する専門家は、よくこのような質問をされることがあります。「心理学を学ぶと人の心が読めるようになるのですか？」答えは「いいえ」です。しかし、心理学を学ぶことで、心を「透視」するのではなく「理解」するための言葉を増やすことは可能です。例えば、仕事や人間関係でトラブルがあり、多くの悩みやストレスを抱えることがあります。そのような時、その悩みやストレスが私たちの心身に与える影響に対する知識を持っていれば、その不調の意味や現象を理解し、場合によっては適切な対応が可能になるかもしれません。また、物忘れに悩んでいる人が記憶や認知の心理学の知識を持っていれば、実は自分だけに起きている現象ではないことを理解して悩みが和らぐかもしれません。また時にはその対処方法の手がかりを得ることができるかもしれません。

このように、私たちの身の回りには、「心理学」という学問に関わる現象がたくさん存在します。みなさんもそれぞれ心とはどんなものかについて自分なりに知っていると思います。ところが、近代の心理学は、「自分たちが心に対して知っていること」は、思い込みかもしれないという不安から始まった学問です。そのために、実験など思い込みの影響をできるだけ小さくしようとする方法を用いてきました。この科目では、心理学の知識、心理学のさまざまな概念を理解するとともに、その知識を使うこと、そしてその限界について学習することを目的とします。

課題の概要

以下課題 1、2 とも「論理的」な文章表現を重視する。

○通信授業課題 1

教科書に基づいて、心理学にはさまざまな領域があることを理解すると共に、他者や外界の事象が我々個人の心理にどのように関わってくるのかについてとらえる課題。

○通信授業課題 2

教科書の各章、及び通信授業課題 1 の結果を参考に（あるいは応用）して、日常の諸問題を心理学的にどうとらえるかという課題。

*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書を使用する。

1 章 心理学とは	8 章 発達
2 章 知覚	9 章 発達の障害
3 章 知覚の障害	10 章 性格と社会的認知
4 章 記憶と学習	11 章 人間関係
5 章 認知	12 章 社会的影響と集団
6 章 感情	13 章 心と脳
7 章 自己	14 章 病理

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の該当部分から出題（記述式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：荒川歩・浅井千絵編『考えるための心理学』（武蔵野美術大学出版社 2012 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

0150 | 色彩学

4 単位 (通信授業 4 単位)

島森功講師、江森敏夫講師

授業の概要と目標

色彩学は英語では Science of Color といい、光学や生理学、心理学などの学問との関連が深く、“学際的”であるのが特徴である。学生の中には「色の勉強など必要ない。経験だけで十分だ」と考えている人がいるかもしれないが、「色とは何だろう？」という疑問に答えられる人はきわめて少ない。

本講では、この疑問に答えるのに必要なさまざまな知識を学ぶ。たとえば、「色は光である」、「色は目ではなく脳で見えるものである」、「色は情報である」、「色は数式で表せる」、「色は感情を操る」等々。そのために教科書を精読し、4つの課題に取り組んでもらう。そして、通学生なら教室で聞き流すところを自分の目と手足を使って確かめ、その成果を報告してもらおう。これにより、色に対する理解が深まり、色による表現力が向上することを期待したい。

課題の概要

○通信授業課題 1

白から黒までの見た目に等間隔のグレースケールを作成する課題。

○通信授業課題 2

スーラによって編みだされた点描画法について研究し、自画像（顔）を描く課題。

○通信授業課題 3

色の対比と同化について教科書で学習し、この2つの現象を踏まえたブックカバーのデザインを行う課題。

○通信授業課題 4

色（赤や青など）の連想を調べ、教科書のデータと比較・検討する課題。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書のすべての章を学習する。

色の世界の成り立ち／色の表し方／混色の原理と応用／色の感覚的・知覚的作用／色の認知的・感情的作用／色の美的作用

成績評価の方法

提出課題の評価による。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。但し、1・2 年次に履修することが望ましい。

教材等

教科書：千々岩英彰『色彩学概説』（東京大学出版会 2001 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

各課題レポートの提出順序は特に定めない。ただし、ひとつの課題レポートが返却されるまでは、次のレポートを提出できない。

0160 | コミュニケーション論

2 単位 (通信授業 2 単位)

諸橋泰樹講師

授業の概要と目標

本科目では、以下の二つの学習活動を通して日常生活の場におけるコミュニケーション現象・問題の解明が目指される。

- 1) 私たち自身がそのただ中にある近代化過程に注目し、そこで重視される、ないし有力となるコミュニケーション活動の歴史性を、それに先立つ、いわば人類史とともに営まれてきたコミュニケーション活動との対比において考える。
- 2) 良さにつけ悪しきにつけ、私たちの日常コミュニケーション活動のうちに深く組み込まれているメディア技術のもつ意味を考える。

課題の概要

○通信授業課題 1

「自分の身の回りのコミュニケーション現象を省察する」というテーマで、2000 字程度のレポートにまとめること（単なる感想文ではなく、美術・デザインに携わる学生として、事例のもつ意味を深く問うものであり、学説をあてはめる工夫などが望まれる）。

○通信授業課題 2

教科書等を参照しつつ「人間コミュニケーションにおける文明技術の役割」というテーマで、2000 字程度のレポートにまとめること（教科書の内容をなぞるのではなく、それを発展させた内容となることが期待される。SNS について論じるものが多いが、「ありきたり」な指摘に終わらない工夫がほしい）。
*課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

授業は、教科書に従い、コミュニケーションの理論を考究する。教科書の目次は以下の通り。

- 第 1 章「人間コミュニケーションの根底にあるもの」
- 第 2 章「人間コミュニケーションをとらえる視点」
- 第 3 章「無媒介的コミュニケーション世界とその変容」
- 第 4 章「近代コミュニケーションの諸相」
- 第 5 章「媒介の時代をとらえる」
- 第 6 章「テレビ電話のメディア特性を探る」
- 第 7 章「マスメディアの時代をどうとらえるか」
- 第 8 章「メディア融合時代の到来」

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の内容を中心に出题する。用語・学説や現象について記述式で解答してもらう。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：小林宏一『コミュニケーション論』（武蔵野美術大学出版社 2002 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年）

その他

自らの生活体験をアカデミックな参考文献などによって理論化し、それをきっかけにして更に自らのコミュニケーション観を拡張していく姿勢が、求められる。

0170 | 著作権法

2 単位 (通信授業 2 単位)

志田陽子教授

授業の概要と目標

この授業では、わたしたちが知っておくべき権利やルールのうち、とくに「表現」に関わる法律を具体的に学ぶ。この分野に属する法律は、憲法 21 条「表現の自由」とこれに関連する法律、また、著作権法をはじめとする知的財産権の分野の法律である。

法学の分野について学習するためには、自分をとりまく社会を、問題意識をもって見ることが出発点となる。そしてその問題意識を、わたしたちに保障されたさまざまな「権利」や、民主的な制度や理念(公共性)と関連づけて考えることが必要となる。本授業では、具体的な問題について考えながら、こうした思考を実践することをめざす。

課題の概要

まず教科書の全体を 1 度、通読してほしい。それからレポート課題に進むこと。

レポート課題では、社会の中で実際に起きた事例(裁判例)を素材として、具体的に考える。

課題の詳細については、学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。また、課題条件の中には、「関連する法律(憲法)の条文を挙げること」という条件があるが、課題作成にあたって、インターネットや図書館で最新の法令を参照してほしい。

また、課題 1・課題 2 とも、学習指導書にあるとおり、参考文献を明示すること。とくに本授業では、著作権法上の「引用のルール」を実践できているかどうか大きな評価対象となる。

○通信授業課題 1

「例題」を参考にして、各自がもっとも関心をもったテーマをひとつ選び、必ず具体的な事例を参考にしながら論じる。そのさい、「論点」を明確にすることを目標としてほしい。課題 1 では、自分が選んだテーマと事例の正確な把握ができているか、これを考察するさいの「論点」を明確に意識できているかを、主な評価対象とする。

○通信授業課題 2

課題 1 で論じたテーマ・事例・論点について、自分の見解を論じる。その前提として、添削指導、新たに読んだ資料などを参考にすること。他人の著作(新聞記事や専門家の解説)と自分の論説とを区別して記述できているか、結論で書いている内容と自分で設定した論点とがかみ合っているかを、主な評価対象とする。

授業計画

まず、教科書全体を読み、対応する条文を参照しながら、「表現の自由」や「知的財産権」や「情報社会のルール」について総合的に学習する。この分野ではさまざまな法律が関連しあいながら登場するが、教科書を読み進めながら、今自分が学習している権利(問題)がどの法律で扱われている権利(問題)なのかを常に把握するように努めること。とくに憲法上の「人権」とそれ以外の多数の権利との区別、「憲法」と「著作権法」との区別をしっかりと意識してほしい。

次に、『造形文化科目・教職に関する科目学習指導書』に掲載した「例題」を参考にしながら、自分が関心をもって選んだテーマと事例について、もう一度教科書の該当箇所と条文を読み、他の資料も参考にして、より詳しく学習する。課題条件にしたがった課題作成をつうじて、法学的な思考を実践する。

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：志田陽子・比良友佳理『あたらしい表現活動と法』(武蔵野美術大学出版社 2018 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

その他

受講者のみなさんは、レポート作成のためにも、また、本授業での学習を生きたものにするためにも、教科書による学習と同時に、各人で、新聞報道などを通じて、日常の中でさまざまな素材に接する機会を作ってほしい。

0180 | 音楽論

4 単位 (通信授業 4 単位)

白石美雪教授、下迫真理講師

授業の概要と目標

美術大学の学生にとって、音楽とはどのような存在であろうか。音楽を日々の生活の大切な友としている学生もいれば、あまり音楽に興味がない学生もいるだろう。「音楽論」の授業では、時代、国、ジャンルといった枠組みにとらわれることなく、「音楽とは何か」「声」「楽器」「音楽の伝え方」「音楽とパフォーマンス」「聴取とメディア」「音楽と想像力」「音楽を語る」「21 世紀における音楽の諸相」といった観点から音楽文化を広く見渡していく。

音楽に親しんでいる学生は、これまでとは異なる音楽への視点を得て、自らの音楽観を一層深みのあるものにしていただきたい。あまり音楽に馴染みのない学生については、本科履修が、音楽の世界の探究を始める切っ掛けになることを願う。

課題の概要

○通信授業課題 1～4

教科書を以下のように 4 つに分け、各部分を各回 (全 4 回) の課題にあてる。

課題 1 序章～第 1 章

課題 2 第 2 章～第 4 章

課題 3 第 5 章～第 7 章

課題 4 第 8 章～終章

該当部分に記されている音楽家、楽曲、術語、内容などと関連づけて独自のテーマを設定し、論述する。作成の上での留意点：

- ・テーマ設定の切っ掛けとなった教科書の部分 (章や節など) をレポートの冒頭に記すこと。
- ・テーマと関連のある音・音楽を聴き、それについて感じたこと・考えたことを記すこと。
- ・本論の内容を簡潔に示すタイトルを考え、「課題」欄に記すこと。
- ・論考作成にあたって参照した音源、資料のデータを記すこと。

授業計画

序章 第 1 章「音楽とは何か」 第 2 章「声」 第 3 章「楽器」 第 4 章「音楽の伝え方」 第 5 章「音楽とパフォーマンス」 第 6 章「聴取とメディア」 第 7 章「音楽と想像力」 第 8 章「音楽を語る」 第 9 章「21 世紀における音楽の諸相」 おわりに (終章)

成績評価の方法

○科目試験

教科書の内容を理解した上で、独自の考察・探究を深めて臨んで欲しい。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：白石美雪編『音楽論』(武蔵野美術大学出版局 2016 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

0130 | 数学

2 単位 (通信授業 2 単位)

圓山憲子教授

授業の概要と目標

人間の精神と文化は、有史以来、パターンを捉え、その基本法則や性質を探求する思考体系を発展させて来た。その思考体系のひとつである数学は抽象的なパターンの科学である。このような現代的な認識に立って、数学的な見方や考え方とその重要性を身近な題材や馴染み深い図形を通して明らかにしていく。教科書では、数のパターンに関する実用的な話題と、形のパターンに関しては、私たちの思い込みによって 2000 年以上もの間異なる見解を許容することができなかった幾何学の歴史を背景に、それまでの幾何学的な見方からの自立として生まれた新しい幾何学、さらに複雑な自然を捉えようとする現代的な幾何学のひとつを取りあげた。一方で、数学の言葉で語られる概念を理解するには、時には単調な基礎的訓練も必要である。Task (タスク) と呼ぶ実技を含む問題演習によって、テーマに関心を持ち、理解を深めることができるよう手引きした。

課題の概要

○通信授業課題 1

下記授業計画の教科書指定範囲にある Chapter 2、3 (Chapter は章のこと) を中心に出題する。

○通信授業課題 2

下記授業計画の教科書指定範囲にある Chapter 6、7 を中心に出題する。

* 課題については学習指導書を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の Chapter 1、2、3、6、7 を使用する。

Chapter 1 パターンの科学

数学とは / クイック・トリップ / 数学の言葉

Chapter 2 数当てゲームをしよう

マジック・カード / フロッピーディスクは原稿用紙で何枚分? / アルゴリズム

Chapter 3 いまさら電卓?

美のある秘密 / 電卓を見直そう / この先どうなるの? / フィボナッチ数列

Chapter 6 多角形と多面体

フラットランドのタイル職人 / 立体では / タイルやブロックを作ろう

Chapter 7 見方を変える

新しいアイデアが生まれた / ふたたび多面体 / 新しい幾何学

成績評価の方法

◎科目試験

教科書の Chapter 1 を除く上記授業範囲を中心に出題する (記述式)。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書: 圓山憲子『もういちど数学を』(武蔵野美術大学出版局 2002 年)

学習指導書: 『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)

その他

数学を学ぶには、自ら手を動かし自ら問いを立て、積極的に考えることが大切です。その試行錯誤の中で、数学が持つ美しさを感じとり、面白さを発見されることを願っています。

0140 | 生物学

2 単位（通信授業 2 単位）

伊藤海講師

授業の概要と目標

「生物学」には、幅広い分野の学問が含まれている。高等学校理科教育の生物では、遺伝学、生理学、植物学などを網羅的に勉強する。本大学は美術大学である。そのため、この授業では、生物の体の「かたち」について学ぶ。生物学の中でも特に、解剖学と比較形態学に焦点をあてる。

ヒトと動物のからだのしくみを比べ、これらがどのようにして進化してきたかを学ぶことで、からだについての認識を深めることを目的とする。私達の祖先となる生物は基本的な構造を変化させることなく、わずかな変化を積み重ねることで、様々な生物へと進化した。我々もそのさまざまな生物の一種である。この授業で使用する教科書「ヒトのなかの魚、魚のなかのヒト」では、魚類からヒトが誕生するまでの進化の経緯が解りやすく説明されている。自分のからだを教材にしながら、解剖学や形態学を通して、からだのかたちについての理解を深めてほしい。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書 1～5 章の要約を 1 章ごとに簡潔にまとめること。

○通信授業課題 2

教科書 6～11 章の要約を 1 章ごとに簡潔にまとめること。

授業計画

[通信授業]

教科書を使用する。

(1) 内なる魚を見つける (2) 手の進化の証拠を掴む (3) 手の遺伝子のかくも深き由緒 (4) いたるところ歯だらけ (5) 少しずつやりくりしながら発展していく (6) 完璧なボディプラン (7) 体づくりの冒険 (8) においのもとを質す (9) 視覚はいかにして日の目を見たか (10) 耳の起源をほじくってみる (11) すべての証拠が語ること

() 内は教科書の章を示す。

成績評価の方法

科目試験の評価による。

科目試験は教科書全般から出題する（記述方式）。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4 年次

[履修条件] なし

[備 考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：ニール・シュービン『ヒトのなかの魚、魚のなかのヒト 最新科学が明らかにする人体進化 35 億年の旅（ハヤカワ文庫 NF）』（早川書房 2013 年）

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』（武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年度）

その他

推奨参考文献

- ・遠藤秀紀『哺乳類の進化』（東京大学出版会）
- ・日本進化学会『進化学事典』（共立出版）
- ・『岩波 生物学辞典』（共立出版）

0190 | 物理学

2 単位 (通信授業 2 単位)

川崎雅裕講師

授業の概要と目標

私たちの周りには、様々な興味深い自然現象があり、一見するとそれらがどうして起こるのか不思議に思うことが多くあります。なぜ空は青いのか、なぜ夕日は赤いのかなどの日常生活の中で感じる多くの疑問、さらには、物質は何でできているのかといった深く物事を考えることによって持つ疑問、それらの疑問に答えるのが物理学です。物理学は自然現象を記述する最も基本的な学問として発展してきました。物理学の魅力は少数の基本的な法則から驚くほど様々な現象が理解できることです。例えばニュートンの3つの基本法則はたった数行の文章または数式を使って書くことができますが、これによって太陽系の惑星の運動などあらゆる物体の運動を正確に予言することができます。

物理学は実験あるいは観測によってその正しさを確かめていく科学で、実験によって新しい発見があればそれを説明する理論が構築されて、さらにその理論が新しい現象を予言する。そして、実験がその予言が正しいかどうか確かめるといったように実験と理論がキャッチボールをするようにして発展していくのが物理学です。このような物理学の基本的な手法や考え方を理解することがこの科目の目標です。具体的には、ニュートンの法則、光や音の性質、電気と磁気などに関して学びます。

課題の概要

○通信授業課題 1

自分でできる簡単な物理実験を実際に行い、その内容と結果などについてレポートとしてまとめよ。

○通信授業課題 2

教科書の中で最も印象的だった物理現象を取り上げて説明せよ。

授業計画

[通信授業]

教科書の第9講までを使用する。内容は

1. 物理学を学ぶことの特権
2. 物理学は測定できなければならない
3. 息をのむほど美しいニュートンの法則
4. 人間はどこまで深く潜ることができるか
5. 虹の彼方に
6. ビッグバンはどんな音がしたか
7. 電気の奇跡
8. 磁気のカンパニー
9. エネルギー保存の法則

成績評価の方法

◎科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1～4年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：ウォルター・ルーウィン著 東江一紀訳 『これが物理学だ!』(文藝春秋 2012年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019年)

0200 | 自然科学概論

2 単位 (通信授業 2 単位)

川崎雅裕講師

授業の概要と目標

人間は大昔から夜空を眺めそこにある星や銀河の美しさや壮大さに感動し、宇宙はどうやって始まったのか、宇宙の果てはどうなっているのか、宇宙は将来どうなっていくのか、といったことを考えてきた。このように宇宙は身近でありながら深遠で謎めいたものとして私たちの好奇心を刺激してくれるものです。宇宙創世の理論は古代では神話として人間の想像力のみを用いて考えられてきましたが、ようやく 17 世紀になって望遠鏡を用いた観測が行われるようになり、宇宙は自然科学の対象として学問的に研究が行われるようになりました。近年における宇宙論の発展は目を見張るものがあり、誕生間もない時期から現在に至るまでの宇宙の進化が物理法則に基づいて理解されるようになってきました。

この科目では自然科学の中でもっとも古くから人々を魅了してきた宇宙論を学ぶことによって、自然科学の手法や考え方、科学的発見に至る科学者たちの努力を知ってほしい。具体的な内容は、宇宙膨張、宇宙を満たしている光である宇宙背景放射、宇宙の最初の 3 分間に起こる元素の合成などを学ぶ。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書を読んで宇宙マイクロ波放射がどういうものか説明しなさい。

○通信授業課題 2

次の 2 つのうちから 1 つを選んで答えなさい。

1. 教科書を読んで、宇宙の最初の約 3 分間までに陽子と中性子からヘリウムが合成される過程を説明しなさい。
2. 宇宙膨張や初期宇宙で起こる現象について、疑問に思われることを取り上げ、それを自分なりに説明しなさい。

授業計画

[通信授業]

教科書では以下の項目について説明しています。

1. 宇宙の膨張
2. 宇宙マイクロ波背景放射
3. 熱い宇宙の処方
4. 最初の 3 分間
5. 最初の 100 分の 1 秒間
6. 1976 年以降の宇宙論

成績評価の方法

○科目試験

履修条件及び履修年次

[履修年次] 1~4 年次

[履修条件] なし

[備考] 履修年次は問わない。

教材等

教科書：ワインバーグ著 小尾信彌訳 『宇宙創成はじめの 3 分間』(筑摩書房 2008 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 2019 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2019 年)